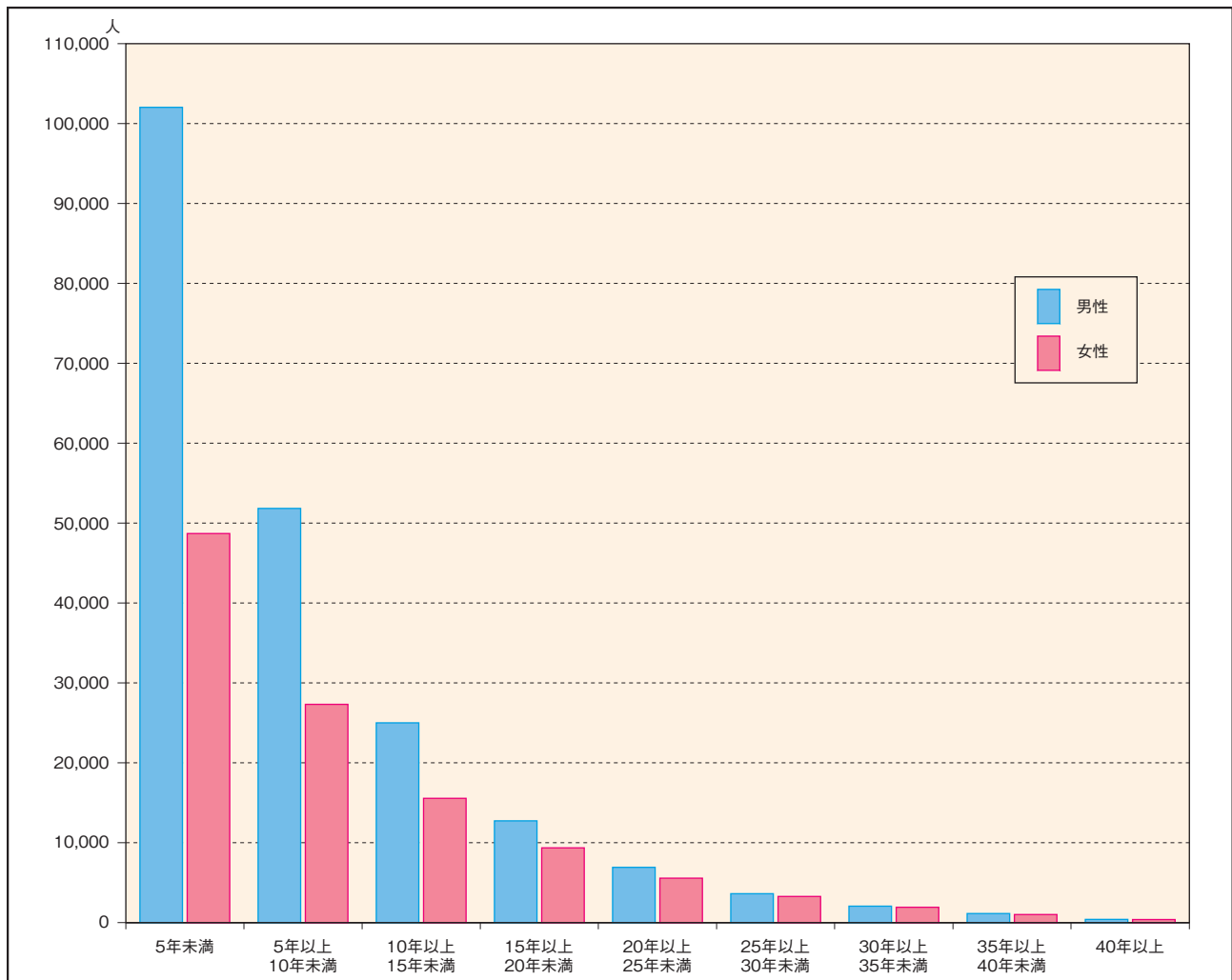


1) 慢性透析療法の現況

(8) 年末患者の透析歴と性別 (図表8)



透析歴	男性	女性	合計	記載なし	総計
5年未満	102,019 (49.6)	48,686 (43.1)	150,705 (47.3)	1	150,706 (47.3)
5年以上10年未満	51,830 (25.2)	27,315 (24.2)	79,145 (24.8)	0	79,145 (24.8)
10年以上15年未満	25,001 (12.2)	15,555 (13.8)	40,556 (12.7)	0	40,556 (12.7)
15年以上20年未満	12,737 (6.2)	9,357 (8.3)	22,094 (6.9)	0	22,094 (6.9)
20年以上25年未満	6,920 (3.4)	5,564 (4.9)	12,484 (3.9)	0	12,484 (3.9)
25年以上30年未満	3,621 (1.8)	3,276 (2.9)	6,897 (2.2)	0	6,897 (2.2)
30年以上35年未満	2,062 (1.0)	1,925 (1.7)	3,987 (1.3)	0	3,987 (1.3)
35年以上40年未満	1,139 (0.6)	1,013 (0.9)	2,152 (0.7)	0	2,152 (0.7)
40年以上	406 (0.2)	387 (0.3)	793 (0.2)	0	793 (0.2)
合計	205,735 (100.0)	113,078 (100.0)	318,813 (100.0)	1	318,814 (100.0)
不明	188	107	295	0	295
記載なし	0	0	0	0	0
総計	205,923	113,185	319,108	1	319,109
平均	6.84	8.28	7.35		7.35
標準偏差	7.19	8.22	7.60		7.60

患者調査による集計

最長透析歴	48年4ヵ月
-------	--------

解説

2016年末患者の透析歴を5年ごとに区切って比較してみると、透析歴5年未満が150,706人で全体の47.3%を占め、透析歴20年以上は26,313人で前年と比べ922人増加し全体の8.3%、透析歴40年以上は793人で前年より176人増加し、全体の0.2%を占めた。最長透析歴は48年4ヶ月であった。いずれの透析歴層でも絶対数は男性のほうが多いが、その差は透析歴が長くなるほど小さくなった。透析歴5年未満では男性比率は67.7%であるが、透析歴30年～34年では51.7%、35年～39年では52.9%、透析歴40年以上では51.2%と、男性患者の比率は相対的に低下した。